

男女共同参画社会へ向けて
一人の「100歩」より
100人の「いっぽ」を！！



『心が喜ぶ楽しい人生の歩き方』



カヨ姐(かよねえ)の愛称で親しまれ、福岡を中心にテレビ司会者やコメンテーターなど幅広く活躍。博多弁を駆使したレポートが大人気。自分らしく自然体で生きる姿に共感する人も多い。インターネットTV局(有)バーター☆ビレッジ代表。福岡県福岡市出身。

参加者のこえ

人生の楽しみ方、これからの生き方を見つめるきっかけになった。

女性が仕事をしたり、好きなことをしたりできるのも先輩方が頑張ってきたからこそだと感じた。

講師の生き生きとした話に元気をもらった。

令和7年1月18日(土)、市総合センターヴィーブルで男女共同参画まちづくり講座「気づきうなずきフェスティバル」を開催しました。山本カヨさんを講師に迎え、実体験を基にした内容をお話いただき、時折笑いも交じえながらの盛況な講演となりました。

【講演のPoint!】

深夜番組で恋愛相談のコーナーを担当していたことから、ひとりの働く女性が妊娠・出産するとはどういうことかを考えてほしいと思い、妊娠・出産日記として、ひとつの番組にしてもらった。

反響も大きく賛否両論あった。ある高校生から「自分が生まれてすぐに母が亡くなり、苦しいことがあると、なぜ生んだのかと母を恨むこともあった。だが、出産シーンを見て、生んでくれてありがとうという気持ちになった」との感想をもらったことで、テレビはきっかけであり、妊娠等について周りの人と話題にしてもらえればいいと思うようになった。

人はストレスなく生きるのが大事。外出する、カラオケに行く、お化粧するなど好きなことをする。周りの人も「お化粧して明るくなったね」など、ポジティブな声かけをしてほしい。

オープニングでは、本市を拠点に活動しているストリートダンススクールSTUDIO. 4TUNEの皆さんが登場しました。

曲にあわせて元気いっぱいダンスを披露し、客席からは盛大な拍手が送られました。

観客からは「ストリートダンスを初めて見たが、元気をもらった」、「ダンスがとても上手だった」、「地元で活動するグループを知ることができてよかった」などの声が聞かれました。



市男女共同参画推進懇話会研修会を開催しました

(熊本県男女共同参画及び女性の活躍推進アドバイザー派遣事業活用)



平成9年より熊本シティエフエムのパーソナリティーとして活動をスタート。当初から「まちづくり・防災・教育」をテーマに番組作りをしている。「NPO法人くまもと災害ボランティア団体ネットワーク」理事、「NPO法人くまもと防災士会」副代表理事を務め、各種団体との連携を担う。

参加者の感想

単に、何に困っているかではなく、そのような状況になった原因を考える(気づく)必要があると学んだ。

行政としての視点や、被災者の視点など、視点を大切にすることは避難所運営において参考にするべきだと思った。

思いを馳せていると思っていたが、もう少し想像力を働かせる必要に気づいた。

令和7年2月6日(木)、市役所で市男女共同参画推進懇話会委員及び市職員等を対象に研修会を開催しました。

NPO法人ソナエトコの水野直樹理事長を講師に迎え、「避難所にみる被災者の役割」と題して、お話いただきました。

【研修会のPoint!】

被災者に本当に寄り添った支援を行うためには、ただ支援物資を渡したりするだけでなく、被災者の状況(情報)をどれだけ知れるかが大切。

知る(情報を共有)→気づける(思いを馳せる)→行動することにつながる。

また、固定観念は悪いことのように言われることも多いが、その人の考えの基礎になっている部分もあり、被災者がどんなことに困っているかイメージする際に関係することもある。

避難所運営を行うとき、行政は平等(全員に対して同じ対応をすること)、民間支援団体などは公平(それぞれの状況に合わせて対応を変え、全員が同じ機会を確保できるようにすること)に動きやすいという強みがある。



合志市男女共同参画推進懇話会について

合志市男女共同参画まちづくり条例により、市民の視点による男女共同参画のまちづくりを推進し、男女共同参画に関する基本的かつ総合的な施策や重要事項を調査研究するために設置されています。各種団体推薦、公募、市長推薦等により、現在は委員15人で活動しています。

主な活動として、定期的な会議のほかに、広報こうし「男女共同参画推進懇話会便り」コーナー掲載や男女共同参画まちづくり講座「気づきうなずきフェスティバル」の運営、男女共同参画啓発情報誌「いっぽ」の発行などを行っています。

原則、2年ごとに委員の募集を行っていますので、ご興味のある方は一緒に活動しませんか？

次回の募集は、令和8年5月頃を予定しています。



市ホームページ二次元コード
「男女共同参画」ページ



あなたの一步が社会を変える！

男女共同参画社会づくり地域リーダー育成事業に参加しませんか

熊本県では男女共同参画社会を基本とした豊かな地域社会づくりを推進するため、毎年5月～6月頃に男女共同参画社会づくり地域リーダー育成事業(以下「研修」という。)の参加者を募集しています。研修課程は①事前研修、②県外研修、③自主研修、④事後研修で、交通費等について県や市からの補助もあります。

「職場や地域をもっと心地よくしたい」、「地元で活気を取り戻したい」、「皆が活躍できる場所を作りたい」といった想いを持つ方々の参加をお待ちしています。

今回は、令和6年度の研修に参加された中村俊輔さんの県外研修レポートをご紹介します。

合志市男女共同参画推進懇話会委員として活動し、今回3期目になるにあたり、リーダーという器ではないながらも、せっかくなら、より幅広く学びたいと思い、研修の参加を希望した。県外研修は、どの講話も大変中身の濃い充実したものだった。

坂田さん(NPO法人ジェンダー平等Labota 理事)の「行列のできる講座とチラシの作り方」の講話では、講師の話の明瞭さ、わかりやすさに感銘を受けた。自分の経験、失敗から素直に学び、しっかりと分析を行い、どのようにすれば集客を出来るのかを考えて行動し、次に繋がったお話は、とても勉強になった。男女共同参画のイベントのほかに、普段の仕事の中でも生かせるお話も多数あり、本当に勉強になった。

島さん(国立女性教育会館 研究員)の「地域で男女共同参画を実現するために」という講話は、グループディスカッションが主だったが、地方自治体や個人、地域活動団体の強みをそれぞれ引き出すきっかけを作っていた。

東さん(NPO法人ファザーリング・ジャパン)の「男性の家事育児と働き方」という講話では、ユーモアのある話を交えつつ、男性の育児参画の重要性をお話しいただいた。長年の思い込みや先入観を変えていくのは、「気付き」→「行動」→「習慣化」が大事だというお話が強く印象に残った。将来、男性の家事育児の参画が当たり前になり、「イクメン」や「女性活躍」、「男女共同参画」という言葉が不要になることがゴールだというお話に強く共感した。

他にも、研修先である東京都大田区立男女平等推進センター「エセナおおた」職員の方々とグループディスカッションを行った。

とにかく感心したのが、エセナおおた職員の行動力とフットワークの軽さである。企画会議を月1回は必ず行い、常に変わっていく施設利用者のニーズをしっかりと受けとめること、講座の内容やイベント、施設の活用方法などを常にアップデートしていきながら、よりよい男女共同参画推進に向けた施設運営を行っていることに強く感銘を受けた。

今回、2日間にわたり、集中して男女共同参画について学ぶ機会を与えていただき、大変感謝している。今後は、少しずつでも、今回の学びを他の方々に還元していけるように努力していきたいと思う。

過去に本市から研修に参加された方のレポートは、男女共同参画啓発情報誌「いっぽ」のバックナンバーからご覧いただけます。



市ホームページ二次元コード
男女共同参画啓発情報誌「いっぽ」





パートナーシップ・ ファミリーシップ宣誓制度

合志市パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度とは

性的マイノリティや事実婚の人など、同性・異性を問わず、お互いを人生のパートナーとし、日常生活において、対等な立場で、相互に責任をもって協力すると約したお二人がパートナーシップの関係にあることを市に宣誓し、宣誓したことを市が証明するものです。お二人に未成年のお子様がいいらっしゃる場合は一緒に宣誓することもできます。

この制度は、婚姻制度とは異なり、法律上の効力(相続・パートナーの子どもの親権者になるなど)は生じませんが、お二人が自分らしく人生を歩んでいけるよう支援することを目的としています。

また、市では以下の自治体とパートナーシップ等宣誓制度の相互利用に関する協定を結んでいます。

これは、協定を結んだ自治体間で転入・転出があった際、転出前自治体から発行された宣誓書受領書及び受領カードの継続利用や行政サービスの相互利用が可能となるものです。

●福岡県古賀市（令和5年8月～）

●福岡県福津市（令和6年8月～）

全国の導入状況(パートナーシップ宣誓制度、パートナーシップファミリーシップ宣誓制度)

導入自治体 : 459自治体
(令和6年6月28日時点)

交付件数 : 7,351組
(令和6年5月31日時点)



※渋谷区・虹色ダイバーシティ 全国パートナーシップ制度共同調査より

合志市は『パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度』を通じて、多様性を認め合うまちを目指します。

市民・事業者の皆さんへのお願い

性的マイノリティへの理解が進むことは、差別や偏見のない社会の実現に繋がります。本制度の趣旨をご理解いただき、活用できる場面が増えるようご協力をお願いします。



市ホームページ二次元コード
合志市パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度について